エムシーパートナーズ衛生委員会議事録

日　　時	2025年1月20日　16時00分から
開催場所	Teams開催（エムシーパートナーズ株式会社会議室）

メンバー	委員長（衛生管理者）	松村　美奈子	欠席
	委員（産業医）	古澤　真美	
	委員（従業員代表）	徳野　幸枝	
	委員（従業員代表推薦）	高梨　雅恵	
	委員（従業員代表推薦）	根本　葉子	
	委員（従業員代表推薦）	長谷川久美子	
	委員（会社推薦）	川西　治美	欠席
	委員（会社推薦）	松田　明子	
	委員（会社推薦兼事務局）	鈴木　俊彦	

1 委員長挨拶　　※委員長欠席の為、事前に頂き代読

皆様、改めまして本年も宜しくお願い致します。
連日のインフルエンザ感染者数のニュースを耳にすると、コロナの頃を思い出し、とても不安な気持ちになります。
コロナが騒がれるまで、インフルエンザの感染者もそれなりにはいたそうですが、
ここまで取り上げられていなかった気がします。
コロナが騒がれてから、手洗いやウガイ、マスクも習慣となりましたが、感染者が増え続けているという事は、
人間とウイルスのイタチごっこは、永遠と続くという事なのでしょうかね。

巳年は復活と再生、脱皮する年とも言われるそうです。
意味は違うかも知れませんが、どうか今年はこわ～い病原菌から抜け出し、
皆さんが健康を取り戻す１年になってほしいと思っています。

2 労働災害・通勤災害

労働災害	0件
通勤災害	0件

今期実績：１件
今期実績：０件

3 時間外労働状況

（派遣スタッフ）

摘要		同月	前年同月	差異	最高時間について
残業時間	平均	10:36	8:12	+2:24	最高時間/前年同月との差:
	最高	44:45	44:48	-0:03	最高時間の理由:
休日労働時間	平均	0:39	0:24	+0:15	最高時間/前年同月との差:
	最高	35:00	11:00	+24:00	最高時間の理由:　業務量が多いスタッフが存在
残業＋休日労働	平均	11:13	8:36	+2:37	最高時間/前年同月との差:
	最高	79:45	44:48	+34:57	最高時間の理由:　業務量が多いスタッフが存在
	80時間超	0	0		0件

（運営スタッフ）

摘要		同月	前年同月	差異	最高時間について
残業時間	平均	15:32			最高時間/前年同月との差:
	最高	30:20			最高時間の理由:
休日労働時間	平均	0:25			最高時間/前年同月との差:
	最高	4:40			最高時間の理由:
残業＋休日労働	平均	1:20			最高時間/前年同月との差:
	最高	30:20			最高時間の理由:
	80時間超	0			0件

4 職場巡視　結果の報告

※産業医職場巡視結果報告書にて説明
実施日：2024年12月28日　　17時～17時20分
巡視者：古澤先生、松村東日本エリア長、鈴木俊
内容：

・空気環境測定：結果詳細は別紙参照
二酸化炭素結果：990ppm（2回平均）　基準1000ppm以下
基準値ぎりぎりなので、ビル管理側に対応を確認する
室内換気が不充分な可能性もあり
現在の簡易測定器に校正機能があれば実施する
（簡易測定器は基準値内数値であり、今回の測定値と乖離大きい為、校正機能がない機器なので、機器更新を検討する）
湿度は適正値であり、ビル側の加湿等が良好と思われる
・棚上　ネット機器の固定が望ましい。マジックテープとかでも可、移動できるのであればその方が良い
・救急箱　　急に利用する事が多い為、従業員のみなさんがわかる様にしておく
・照度測定　　個別ボックス内500lx～700lx　範囲内に収まっている
・清掃状況　　行き届いている、コンセントや電源状況もOK
・電源関係　　電子レンジ、冷蔵庫、アクアクララの電源の取り方が単独かそれに近い取り方で問題なし
・シュレッダー　　緊急停止ボタン有のタイプで問題なし
・椅子タイプ　　上下稼働式タイプなので就業姿勢調整ができ、問題なし
ディスプレーと個人の目の高さをあわせて就業することをおすすめ（やや下向き）

5 産業医講和テーマ：

インフルエンザ警報発令中

2025年1月　衛生委員会資料

今年は1999年以降では最も大きなインフルエンザの流行となっています。現在の流行はA型（pmd09型）であり、感染力が強く、症状も重めです。流行のピークが早いこともあり、今後、B型の流行が起こる可能性もあり、予断を許さない状況です。流行期の感染予防と罹患した場合の出社の注意点をまとめました。

流行期の感染予防について

1. 咳エチケット
咳・くしゃみの時には他人から1m以上離れ、ティッシュで口と鼻を押さえる。使用後のティッシュはすぐに蓋付きゴミ箱へ。咳をしている人にはマスク着用を促す。

2. 外出後の手洗い等
流水・石鹸による手洗いは感染症対策の基本です。アルコール製剤による手指衛生も効果があります。

3.適度な湿度の保持
特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度(50～60%)を保つことも効果的です。

4. 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

5.人混みや繁華街への外出を控える
疲れている時は特に注意！

正しく服薬

医師が必要と認めた場合には、抗インフルエンザウイルス薬が処方されます。抗インフルエンザウイルス薬の服用を適切な時期（発症から48時間以内）に開始すると、発熱期間は通常1日から2日間短縮され、ウイルス排出量も減少します。なお、解熱薬についてはアセトアミノフェンのみが良いとされています。

出社の目安

特に決まりはありませんが、解熱後も数日～1週間程度はウイルスの排出があるといわれており、**解熱して2日以上が経過し、かつ咳やくしゃみ、鼻水などの症状がほぼ消失する**までは自宅療養が望ましいと考えられます。かかりつけ医の指示に従ってください。また、**出社から数日はマスク着用と頻繁な手洗い**が望まれます。参考までに、インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）を除く）は、第2種学校感染症に指定されており、出席停止の期間は「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで」となっています。

5 その他

・案内　【睡眠セミナー：1/21開催】ZOOM
眠活をはじめよう！ ～快適な眠りのために～
14時～15時　申込不要　※アーカイブ配信有り　2/3～2/28

5 質問・意見　：質問・意見等がないことを確認し本会を閉会

6 次回開催日　：2024年2月17日　16時00分から